

く験ぼでで

りる足 `兼生 ま児で家業は せ童入庭農初ん。はるで家め

そ田実のて

ん植際多の

なえにい田 にの田地植 多経ん域え 土での上らすし 。 た育**種** 。 。 。 をらなそシ苗**ま** せ種か土がの一箱きまもけ全ら上トの... 。 みる体敷にが中**十** をとがき土敷に ま苗湿まをいは**五** き床るす均て水と、のく。等あで、 薄完らそにり濡 く成いのなまら

ぎ田一だ佐 でゆっさき藤五二関っそん、庄・十岡 間年いの導とまは でがる古をなし今 すぎ学張いりた年 。ゆ校裕た、。度



で田

き植 るえ

田は

植関 え岡

だ小

と**だ**



き三分い出み しせいのなえ田間後で三皆ん は子小 二田 ま本けまてか約いんよでがのん隔は植分様、元とど学二相 すを、し、ら1の。う、植目ぼに子えの、PPても校十植 でってた立はケでやにでえ印を仕どま一のTTもた学五元 東こ。派、月すっしきてを縦切もすほ協AA手ち校年 中 にか苗なび前。てなるいつ横らた。ど力役会にの最を 十 し しらは稲っに みけだくけにれち機のを員長負手後迎え しらさ成りい とば曲印すき道出で積た保張する く歌16 ことはがにすすーま本にある素が。年すを1000年 てさ小にしま 植らさ成りい るれい日まずたの機関い、古え種や型**性** とば曲印すき道出で積た保張まえ四え 結ながと。、具番植をだ護裕せだ田た 構りらなみ手で。え機き者一んけえ関 難まなるん植、等た械、のさ。で、岡 えにな長とた て二株し芽種 いくにてがも



し秋と みの心 で収をおす。穫ない がかてにいい 行款 からとてものためたいことである。



取へずんとのしこ責 稲・た先を『ぜり加つぼこ部てめ任一刈保。生使バー刈組えひにろ分いてを人り護今にいイをりむるろ落のがま刈持一を者年刈、ンたとなるないち作終しっちたがなった。 み教ま庄機ま `か担た心割 員し平械でば



組こ先おみに生餅

だ古蔵り

にな機手所うがみ束稲

手か械ががべで `植を

な回り歯回を体 ベ出みの部稲はス 束いつま の脱 おシ田と



